

## 大阪市総合防災訓練 2016年11月12日

大阪市此花区の舞洲にて大阪市総合防災訓練が行われ、今年も大阪市内のDMAT指定医療機関ならびに消防・警察・自衛隊など関係機関が参加し、連携訓練を行いました。

今年は例年と違い、日本赤十字社大阪支部が所持しているdERU(仮設診療所)が展開されました。dERUは熊本地震の時にも使用され、被災地にて、仮設診療所や手術室、集中治療室、レントゲン撮影室などを展開することができます。

今回はこのdERUを赤エリアとして使用し、優先度の高い傷病者の治療を行いました。

災害時には日本赤十字社とDMATが協働することが求められます。

dERUを使用しての活動を経験し、今後の災害対応に広がりができ、より多様な対応ができると感じる事が出来ました。

今後のDMAT活動に様々な可能性が広がる、非常に有益な訓練でした！



## 国際救急災害シンポジウム 2016年11月27日

国際救急災害シンポジウムで3SPidersの紹介をしてきました！

3SPidersとは、Smartphone supports patients and selects priority in disaster sites というスマートフォンを用いた新たな傷病者管理ツールで、救急診療科部長の藤見聡が命名しました。

このシステムでは救護所における傷病者管理を電子化することにより、行われているトリアージや安定化処置の内容を傷病者一覧表としてリアルタイムに把握することが可能です。

スマートフォンを用いて感覚的に操作することが出来るため、災害時の情報管理に大きな進歩をもたらすものと考えています。

部長の藤見がプレゼンテーションを行い、木下医師と塩屋、天野、吉田の3人のロジが実際の操作のサポートを行いました。参加者の方々も初めてのご使用であったにもかかわらず、非常にスムーズにお使いいただき、完璧な傷病者一覧表を作ってくださいました。

6年前にプロジェクトが始まって以来、色々なところでプレゼンテーションの機会をいただき、少しずつではありますが知っていただいている方が増えてきていることをとてもうれしく思います。災害医療は府立の柱の1つですので、これから色々な方面で貢献していきたいと思っております！

